

広報



# ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番  
印刷所 潮 東 印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円  
郵便番号 018-117 毎月 1日・15日発行

町税の納期再認識とおながい  
町税につきましては、年々その認識を深め、早期完納者が多くなつた。町税の徴収実績をみると九月末前年比では一般税で三・七九%、国保税で四・四〇%上昇した。が、十月末になって春以来の異常な天候不順によって農家の取納が大巾におくれたため、徴収実績も一般税で一・二〇%、国保税で四・〇〇%と前年比大きく後退した。その後十一月末になって、納税完納強調月間中の広報活動並びに集合徴収、農協取納取扱指定を利用等の効果もあって一般税一・五九%前年比に比して上昇し国保税もあともう一步で前年実績を上まわると予想だ。



寒さにもめげず公園で遊ぶ高千部の子どもたち

### 用地1,778㎡部落で提供

農村総合整備モデル事業で、去る8月から着工していた、高千集落農村公園新設工事がこの程完成した。この公園はモデル事業の環境施設整備の一環として取り上げられたものでその第1号である。1,778㎡の用地は高千部落(会長小玉太美雄)の提供で、高田、千日間の道路沿線にある。子ども遊びはもちろん、村人たちの憩いの場としても格好の場所である。

### 多彩な樹種で将来が楽しめる

公園の周りは、サワラの生垣で縁どられ24本のサクラと352本のツツジ、そしてヒマラヤシダに黒松、山紅葉、ケヤキに椿まるで樹木園の様相を呈している。その中に8トンの景石と徒渉池が公園の特徴をひときわ引き立たせている。ただこの公園をますます立派なものに仕上げていくには、この植木の管理はなおざりに出来ない。建物と違って樹木は管理をよくすればするほど将来に夢を持たせてくれる。この地域の人の創意工夫が維持のポイントになるだろう。

### チェーンネットクライムや休養施設も

遊具はこの町としては初めてのチェーンネットクライムは

じめスベリ台、ブランコ、回転ジャングルジム、安全ブランコ鉄棒などで、子どもたちが汗するには事欠かない設備に満ちている。また遊び疲れた子どもたちが休める休養施設やベンチも配慮されており、間もなく完成する高千線のバイパスと共に、この地域の魅力をグット大きくすることに役立つことは間違いない。

### 農道など12億円で整備

モデル事業は50年度から着手されたもので、国の財政事情で当初の5カ年から7カ年に計画は延長されているが、12億7千万相当の予算でこの町の農道や集落道、それに農業用や集落排水の幹線を整備していくほか、農村公園、環境改善センターなどの建設が計画されている。50年度は3,860万円、51年度は5,200万円で、北村集落道路525mをはじめ、下樋口線、千日線、谷地中線の各集落道、窓地、坊井地線(工事中)、白水沢線の農道など、各地域の用地取得済みのものから工事をすすめている。来年度から事業費も多くなるものと期待されているので、町内における未舗装道環境整備も、現在の点から線への広がりを見え、住みよい町づくりの強力な支えとなることだろう。

## 高千部落到に

### 農村公園第一号完成

農村総合整備モデル事業で

### △広報サロン▽ 歴史の感懐を感じる町

琴丘電子五城目工場

山打敏夫



私は数カ月前からこの町に勤務しているが、この頃よりよく社員と

員と何でも語れるようになった。何しろ四十数名の女子社員の中で男性はただ一人という幸運な環境で立場としてはハレムの王様みたいな存在だが、なかなかそんな心遣いもなれず緊張の連続である。人事管理のむずかしさと、己の非力をかみしめる毎日である。

仕事で電子工業ということで非常に繊細で神経の抜ける仕事なので、社員の間も製品が合格するまではピンと張りつめているのが手に取るようにわかるけれどもこの町のおふくろさん(私はみなさんそう呼んでいる)達は、よく仕事を理解してくれて、混んでくるときなどは一緒にになって心配し残業などして手伝ってくれる。

都会で十年も生活して「隣りは何をする人ぞ」が当然とする経験からともすれば消えてしまいうような人間的情感を呼び戻してしまい。ありがたいたいと思つて。五城目町に来てよかつたなアと思う瞬間でもある。この町をよく理解して、とは言葉えないが、城下町でそこはかとなく歴史の感懐を感じる、町民センターや広域体育館などを、中心に静かな町の改造が肌で感ずる。それに町内の橋の多いのに驚き、その立派さにも感心している。

仕事の量も順調に伸びているので来年は社員百名獲得目標にして、この町の産業の一端を担っていきたい希望もっている。

# 大川地区移動町民室 道路整備などに論議が集中

去る十二月十二日午後一時から三時間余りにわたって大川地区移動町民室が開かれた。冬の大空にはめざらしく好天にめぐまれ多数の住民が参加した。

今回で十二回目を迎えた移動町民室は道路、農村総合整備モデル事業、小学校改築の問題などに論議が集中、最近はいよいよ活発な意見や要望が出された。以下概要はつぎの通りである。

## 佐藤大川分館長あいさつ

好天気にもぐまれ多数出席いただき感謝したい。また町当局も忙しい中きてもらった。日頃、町とヒザを合わせて話す機会は少ない。明るく住みよい町づくりをめざし平素考えている要望や意見を出してほしい。

学校など残された問題はありますが一定の水準へ到達した。今後の展望としては道路網、公共建物など基盤整備を行い、そのうえに立って、産業振興へ重点を移す方向だ。

## 広域行政に対応

これからは付近市町村と広域的な事業が多くなる。秋田湾の開発は相当な波及効果を来す。すでに秋田市では具体的自立化へ踏み出した。町の対応は交通網を整え住民の生活環境を促進することが将来への布石である。

## 【要望事項】

町：大川小学校改築に伴う環境整備について町当局から説明を受けた。

町部と農村部の均衡ある発展  
また町部、農村部の均衡ある発展を考へて町部は都市計画事業で農村部は農村総合整備モデル事業で農道整備などを推進したい。

## 単年度黒字を見込む

五十一年度は単年度収支で黒字の見通し。現在ある八千万の赤字を減らせると思う。役場庁舎、

総工費二億六千八十五万円、来年六月には生徒を移す予定である

グラウンドの整備はブールも同様五十三年度で整備したいのもうしばらく待つてほしい

町：計画は皆さんが活用できるよりに改善などして地区の体育館にしたい。何処へおくか相談したい。環境改善センターをつくるので併せて活用したい。

町：計画はいまある土地につくって用地の協力があればもっと広げられる。対策をつくらせたい。

町：計画は皆さんが活用できるよりに改善などして地区の体育館にしたい。何処へおくか相談したい。環境改善センターをつくるので併せて活用したい。



要望事項をまとめる加賀谷町長

町：一般的な不動産的な感覚ではムリだ。事業費の関係で用地費の増高はむずかしい。

町：小学校前通学路はどこまでもモデル事業でなければダメか。現に子どもを連れに行つて事故まで起きている。浅野千十郎氏が骨おつてやつてるのが町の方から何ら誠意がみられない。

町：できれば改築と同時に着工したいと思つていたが、土地の問題ではつきり調整できない。また電源立地事業もあり、関連をもたせながら実施したいので用地問題を早く解決したい。

町：計画は皆さんが活用できるよりに改善などして地区の体育館にしたい。何処へおくか相談したい。環境改善センターをつくるので併せて活用したい。

町：計画はいまある土地につくって用地の協力があればもっと広げられる。対策をつくらせたい。

町：計画は皆さんが活用できるよりに改善などして地区の体育館にしたい。何処へおくか相談したい。環境改善センターをつくるので併せて活用したい。

町：計画は皆さんが活用できるよりに改善などして地区の体育館にしたい。何処へおくか相談したい。環境改善センターをつくるので併せて活用したい。

町：計画は皆さんが活用できるよりに改善などして地区の体育館にしたい。何処へおくか相談したい。環境改善センターをつくるので併せて活用したい。

町：計画は皆さんが活用できるよりに改善などして地区の体育館にしたい。何処へおくか相談したい。環境改善センターをつくるので併せて活用したい。

町：計画は皆さんが活用できるよりに改善などして地区の体育館にしたい。何処へおくか相談したい。環境改善センターをつくるので併せて活用したい。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

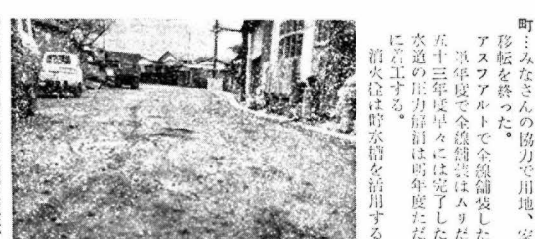
町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。

町：みなさんの協力で用地、家屋移転を終つた。



大川保国に無資格の保母がいる。子どもは保育上好ましくない。有資格者を置くか資格を返らせざるべきか。

町：資格を取らせる方向で検討する。

町：資格を取らせる方向で検討する。

町：資格を取らせる方向で検討する。

町：資格を取らせる方向で検討する。

第34回

衆院総選挙投票率七五・七%

五城目保守系票伸びる

第三十四回衆議院議員総選挙は去る十二月五日最高裁判官国民審査の投票と共にこなされた。

二月突然降って湧いたようなロッキード事件を発し自民党の党内抗争に揺れ続けた国会は、戦後初めて任期切れ選挙となった。看板、カバン、地盤を土台に政権を担当してきた保守党に、国民がどのような審判を下すのか注目されたが、結果は自民党の二四九、共産党十七議席と左右の大敗と社、公、民、新自由の進出が目立った。

秋田県の場合は、一、二区とも自民党と社会党がそれぞれ席を分け、共産党は切角の指定席を守り切る事が出来なかった。

自民・社会党席分ける

秋田一区は選挙公示のスタートから現職大臣石田博英と大臣経験者である佐々木義武候補の首位争いが注目された。あとの二議席は社会党の佐藤、川口候補と共産党の中川候補のたたかひとなった。

投票率七五・七%前回は二・一%上回る

五城目町の当日の有権者数は一万三千三十四人で、投票総数は九千三四四票、内有効九千二五八票無効八六票で、投票率七五・七〇%となっている。四

七年の七三・五七%を二・一三%上回っている。

一地区別投票率では内川地区の八〇・八%を筆頭に、大川、五城目、富津内、馬場目、面溝の順となっている。特に面溝地区は国政



選挙の投票率が悪く、四十七年が六〇・四七%、今年が六五・五四%と六〇%台を抜け切れないでいる。投票所の場所の問題があるのか、有権者の関心度が薄いか、その要因を探りあてたいところである。

自民票を伸ばす

候補者別の得票数は別表のとおりである。先回は七人で今回は六人の違いはあるが、四十七年は石田、佐々木の保守票が三千六六三票、革新系五人で五千四二九票

衆議院議員総選挙 開票結果一覧 (第一区)

投票総数	9,344票 (9,036)
内訳	有効 9,258票 (8,892) 無効 86票 (1.44%) 無投票率 0.92% (1.59%)
立候補順位	候補者氏名 得票数
1	北 鴻 勝 511票
2	石 田 博 英 2,021票 (1,177)
3	佐 藤 敬 治 346票 (157)
4	中 川 利 三 郎 1,630票 (1,484)
5	川 (内) 藤 大 助 良 平 2,491票 (2,122)
6	佐々木 義 武 2,259票 (2,286)
7	鈴 木 一 (1,641)
8	畠 山 敏 雄 ( 25)
計	9,258票 (8,692)

昭和51年12月5日執行 衆議院議員総選挙結果 ( )の数字は47年の投票率

	当日の有権者数			投票者数			投票率		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
五城目第一	503	611	1,114	385	456	841	76.54	74.63	75.49
〃 第二	438	497	935	344	342	686	78.54	68.81	73.37
〃 第三	611	711	1,322	544	473	1,017	89.03	66.53	76.93
〃 第四	271	326	597	217	251	468	80.07	76.99	78.39
〃 第五	385	415	800	285	289	574	74.03	69.64	71.75
〃 第六	384	407	791	307	324	631	79.95	79.61	79.77
計	2,592	2,967	5,559	2,082	2,135	4,217	80.32 (76.27)	71.96 (73.40)	75.86 (72.89)
馬場目第一	276	311	587	230	237	467	83.33	76.21	79.56
〃 第二	308	326	634	243	227	470	78.90	69.63	74.13
〃 第三	139	152	291	95	111	206	68.35	73.03	70.79
〃 第四	92	97	189	66	74	140	71.74	76.29	74.07
〃 第五	36	43	79	19	29	48	52.78	67.44	60.76
計	851	929	1,780	653	678	1,331	76.73 (70.37)	72.98 (75.30)	74.78 (72.89)
富津内第一	210	215	425	173	171	344	82.38	79.53	80.94
〃 第二	304	340	644	224	244	468	73.68	71.76	72.67
〃 第三	216	255	471	155	193	348	71.76	75.69	73.89
〃 第四	71	71	142	42	57	99	59.16	80.28	69.72
計	801	881	1,682	594	665	1,259	74.16 (70.25)	75.48 (75.25)	74.85 (72.95)
内川第一	235	269	504	179	215	394	76.17	79.93	78.17
〃 第二	220	254	474	183	202	385	83.18	79.53	81.22
〃 第三	43	47	90	40	44	84	93.02	93.62	93.33
計	498	570	1,068	402	461	863	80.72 (67.26)	80.88 (79.29)	80.81 (73.60)
大川第一	471	498	969	363	381	744	77.07	76.51	76.78
〃 第二	159	180	339	137	144	281	86.16	80.00	82.89
〃 第三	83	92	175	67	77	144	80.72	83.70	82.29
計	713	770	1,483	567	602	1,169	79.52 (75.25)	78.18 (79.44)	78.83 (77.43)
面 溝	357	415	772	257	249	506	71.99 (58.38)	60.00 (62.29)	65.54 (60.47)
合 計	5,812	6,532	12,344	4,555	4,790	9,345	78.372 (72.55)	73.333 (74.48)	75.704 (73.57)

街を自然を美しく  
吸いからの捨け捨てはめまじょう

Smokin Clean

### 昭和五十一年度 秋田県交通安全県民代表者大会 飲酒運転追放無事故競争で全県一

去る十一月十九日午後一時から県正庁で昭和五十一年度秋田県交通安全県民代表者大会が行われた。大会には県内各地から交通安全協会など、ひごろ交通安全運動に携わっている人たちが四二〇人が参加。まず全員で交通事故の犠牲者に對して一分間の黙とうをさげ、佐々木喜久治副知事が「本県の交通安全事故は減少傾向にあるが、まだ酒酔い運転や青少年の無謀運転があとをたない。

弱者に対する保護を中心に、交通事故の絶滅を期して県民総ぐるみで強力な運動を推し進めてゆきたい」とあいさつ。

この一日から始まった交通安全運動月間では、とくに子どもや老人など歩行者の保護に徹する。また飲酒運転や無謀運転を追放し、みんなで交通ルールを守り、安全運転と正しい歩行を励行する。今回の受賞を契機に継続的な飲酒運転追放運動にしたいと語りきつてゐる。

### 大川小創立百周年記念式典を挙げる

石井節蔵氏(元校長)など十八名に感謝状

去る十二月八日午前十時から大川小学校講堂で大川小学校創立百周年記念式典が行われた。

会場には卒業生や教職員など同校の歴史を担ってきた人たちが二百名が出席した。山平校長は「水の流れるには三つの礎がある。一つは大川で学んだ先輩、二つは勤勞を奉仕の精神三つはスポーツのさかんなこと、これは大川小百年の伝統と校風を築きあげた基本である。」

副知事から表彰を受ける伊藤助俊



先強各位の教訓を大いに学び、二十一世紀の教育を展望し実践する決意である。この百周年の意義を子どもたち一人ひと

- 歴代PTA会長 浅野金十郎、浅野嘉左五門
- 学校医 児玉順
- 薬剤師 岩谷喬雄
- 教職員 筒井英作、浅野キエ、伊藤みさほ、一岡トシ
- 歴代PTA会長 浅野金十郎、浅野嘉左五門



百周年記念式典であいさつする山平校長

この中で冬期間や梅雨どきに部屋のタンス、フutonなどをメジメジしたところでは大へん効果のあることが判明、いずみの部屋に置かれた除湿機は一時半でコップいっぱいとなった。最近の住宅はアルミや新建材の普及で外気温と格差が大きく、部屋の湿度が高いといわれ木造建築の場合にみられる通気性は少ないとされている住宅構造の進歩は、また一つ新しい対応策を必要としており除湿機はその好例といえる。

- ▼ 卒業生 十名、洋裁技術科(高卒課程)三名、自動車整備技術科(高卒課程)二十名
- ▼ 願書受付 (中卒課程) 五十二年一月二十一日〜二月七日(高卒課程)
- ▼ 選考月日 五十二年一月十日(木) 中卒課程 五十二年二月五日(土) 高卒課程
- ▼ 選考方法 筆記試験及び面接試験 (高卒課程は、面接のみ)
- ▼ 合格発表 五十二年二月十六日(中卒課程) 五十二年二月九日(高卒課程)

- 協賛会長 小林 貢
- 篤志寄付者 大浜喜一郎 三〇万円 東京都
- 伊藤 哲三 一〇万円 横浜市
- 榎 チヨ 五万円 秋田市
- 嶋崎 栄二 五万円 東京都

### 婦人電化教室開かれる

去る十二月三日一時から町民センターで第六回婦人電化教室が開かれた。

会場のいずみの間には十八名の婦人が参加、東北電力からきた、女性一人を含む四人のコンサルタントが熱心に指導助言を行った。今回は安全器、ソケット、コンセントなどをつなぐコイロの結び方で慣れない手にドライバをもった受講生たちは、講師の親切な指導でみるみる上達する。

### 訓練生募集案内

秋田県立秋田高等学校職業訓練校(秋田市魚島)では訓練生を募集している。細部については、学校か訓練校(四五一八二八)または秋田公共職業安定所へ照会のこと。なお訓練期間は、一カ年。授業料は無料で育成資金制度等の特典がある。

- ▼ 募集対象者 五十二年三月中学校卒業見込者
- 同 高等学校卒業見込者
- ・ 現在就職中または、その他の者
- ▼ 募集人員 建築科三十五名、木工科三十五名、溶接科三十名、自動車整備科
- ・ 受付期間 十二月二十五日まで
- ・ 試験 一次一月五日、二次二月十五日
- ・ 志願書類の請求及び提出先 自衛隊秋田地方連絡部秋田支部

# 防犯で明るい年末年始を

年末年始は例年いろいろな事件事故が多く発生する。そこで犯罪のない明るい年末年始をむかえるためみんで

- ①、窃盗犯罪の予防
- ②、街頭暴力の追放
- ③、交通死亡事故の防止

などを重点に運動をおしめるので、地域のみならずあなたのお宅に注意される年の瀬、新年をすこされることをねがいたい。

## 窃盗犯罪の予防

年末は一年中で一番お金の動く時期なので、ドロボウの稼ごときです。このためたえずあなたのお宅や財布に目を光らせ、そのスキをぬらっている。

- ① 家庭においては
  - ・ 必要以上の現金を家におかない
  - ・ わずかの外出でも戸締りを完全に閉めておく
  - ・ 預金通帳や印鑑は別々に保管する
- ② 会社や事務所では
  - ・ キャビネットや机の中には現金や貴重品などをおかない
  - ・ 宿員の強化や防犯ベルなどの防犯設備の点検整備する
  - ・ 責任者を定め戸締りや施設設備の点検励行は
- ③ 金融機関では
  - ・ 保管責任者を指定して保安体制を強化する
  - ・ 現金の取扱いは慎重に

## ④ 屋外では

- ・ 必要以上の大金を持ち歩かない
- ・ 混雑する場所ではスリやひったくりなどに注意する
- ・ 現金は肌身につけて
- ・ 遠回りでも明るい場所を歩く



## 街頭暴力の追放!!

みんなの力で暴力を追放するため次のことを守ろう。

- ① 酒を飲んだときや酔った人と話をするときはおたがいに興奮しケンカになりやすいので注意する
- ② ひやかされたり、悪口を言われ

ても相手にならない。

- ③ 「あそこがこわいから」と安易な気持ちで相手のいいなりに用心棒料などを出さない
- ④ たえわすかな被害でも勇気をもって届出る

- ⑤ 他人のことだからと知らないふりをしないで、他人ごとと思わず現場を見たらすぐ110番を呼ぶ
- ⑥ 「お礼参りがこわいから」「かわりあいなど後がうるさいから」と泣きわねいすることが暴力団をのさばらせる大きな原因です

## 交通事故の防止

例年十二月から一月にかけて新年会、クリスマス、新年会などいつもの月よりお酒を飲む機会が多い。せつかつくお祭りははずのこの機会も事故が起きてはともなくあみ、酒を飲んでからの運転は大きな事故の原因だ。みんなまで酒飲み運転を追放したいもの

- ① ハンドルを持つたら酒を飲まない
  - ・ 酒を出されるようなところには運転して行かない
  - ・ 酒を飲んだら運転しない
  - ・ 「ちょっと一杯だけ」「飲んだ酒はもうきめた」
- ② ハンドル持つ人には酒を飲ませない
  - ・ 運転する人には酒をすすめない
  - ・ それは結果的には運転者から感謝されることになる
  - ・ 酒のみ運転追放には運転者ほもちろん周囲の人の協力が必要だ
- ③ 冬期間はすべり止め装置を完全に、早朝、夜間、積雪時はスリップによる事故をおこす事があ

る。

スノータイヤの点検をもう一度  
事件・事故は110番へ  
おちついて!!

## 恋地国設スキー場開き

十二月二十六日

このごろ各地で雪のたよりがちらほら聞えてくる。  
来る十二月二十六日は恋地国設



日中友好秋田県農業青年の翼団員  
久保 一関 立見

スキー場で今シーズン待望のスキー場開きが行われる。

この日はグレンドの広さを今までの倍に広げ、スキー愛好家たちがゆつくり余裕を持って楽しめるようにと配慮している。広さは県内でも有数なもの。

また、来年はロープ塔からスキーリフト設置する予定で内容を一歩充実させるとのこと。

スキー愛好家たちにとっては待望の設備であり期待は大きい。

いしんしている姿をこの目で見ることが出来た。

訪問各地では私遣を熱烈に歓迎してくれました。また八億の人民が「自力更生、刻苦奮闘」の精神と八字憲法の技術を実践し、食糧自給を目標としながら土地利用、地力増強の基礎づくりを若男男女も子供も一生懸命であった。

特に大寨は中国農業の祥でもあり、一九六四年に毛主席の指導で「農業は大寨に学べ」のスローガンを学べた所です。大寨は正式には大寨人民公社の中の、一つの生産大隊の車であった。海拔千mをこえる山のふもとにあり、戸数八十三戸人口四百五十人の小さな集落であり、かつては七つの谷と八つの岩山であったところを農民達は山を切りくずし、谷を固造り、社会主義建設に一丸となつてま

こも美しい段々畑が一面であった

それには機械を使用せず自力更生の精神で人力で作ったところであった。また小、中学校の教育の中に政治教育と労働実践が入っており子供達の輝く目と勤勉な態度には、中国の政治教育の姿が表わられていた。

思想教育と労働の一体化したものが中国の農業であった。各地での温かい歓迎と日中友好を世々代々、子々孫々までと願う中国人民の声に我々は今回の目的の意義があったように思。

国家体制、主義、主張は異なっているとはいえ「自力更生、天びん精神」の農業は広大な国土、巨大な資源をともに見張る事ばかりであった。

八億の人民が国家建設に努力している姿になによりも深い感銘を受けて来た。

# 私の見た中国

このたび、日中友好農業青年の翼の一団員として、十八日間中国各地を訪問視察する機会を得た。訪問した都市は北京、大寨、南京、揚

州、無錫、上海の六大都市ですが、廣大な中国のほんの一部にすぎないと思うが「農業を基礎として工業を導き手として農業は大寨で学び、工業は大寨に学べ」という運動のもとに全中国人民が新しい



脱穀に励む人民公社の人々たち

